

▼新酒列車では県内外から51名の方が来町し、新酒に舌鼓をうっていました



新酒とふるさとの味まつり オープニングセレモニー 新酒を求め県内外からたくさんの方が来町

2月16日、観光交流センターで「第25回新酒とふるさとの味まつりオープニングセレモニー」が行われました。「新酒列車」で来町した参加者たちは、高森駅から歩いて、観光交流センターに到着。会場では、鏡開きが行われ開幕を盛大に祝いました。来場者はたかもりの味に舌鼓をうっていました。3月10日には観光交流センターで「ラストイベント」が開催されますので多数の町民のみなさまのお越しをお待ちしております。

▼れいざんギャラリーでの草村町長による特別講演のようす

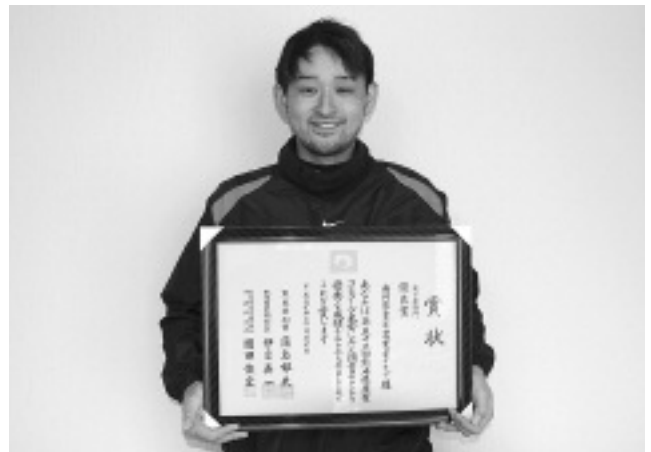


九州ツーリズム大学・高森講座 九州における農山村のまちづくり

2月9日、九州ツーリズム大学・高森講座が町内各所で開催され県内外から約50名が参加しました。九州ツーリズム大学とは、九州各県で様々なツーリズムの取組事例紹介や講座を開きまちづくりに役立つ授業が受けられる場です。今回は、2つの講義、まちなか散策、特別講演が行われました。

第53回熊本県農業コンクール 食と農部門 南阿蘇青年農業者クラブが優良賞

南阿蘇青年農業者クラブ（会長・三森健史さん）が県農業コンクール（食と農部門）で優良賞を受賞しました。これは、耕作放棄地を活用し小学生に「みさを大豆」の栽培体験、地元農産品を使った加工品開発、農業イベントを開き消費者との交流などの取り組みが認められ今回の受賞となりました。表彰式は1月30日に県庁で行われました。



▲受賞した南阿蘇青年農業者クラブ（会長・三森健史さん）

▼生徒たちは日頃からの疑問をまとめて質問、真剣なまなざしで議会に出席していました



高森中学校2年生 12年ぶりに子ども議会開催 12班に分かれ一般質問

2月18日、町議会議場に高森中学校2年生が集まり開催されました。今回は、議長及び議員12班に分かれ、各班ごとに登壇し、町長、執行部へ質問・意見提案を行いました。質問内容は、観光、まちづくり、公共交通、農業、医療福祉まで多岐にわたり、執行部の代表として草村町長がわかりやすい言葉で丁寧に答弁しました。

議長の中川くんは「執行部がわかりやすい内容、言葉で自分たちの質問に答えてくれてうれしかった。町のことははじめて真剣に考えた。今回の経験を生かしてこれからも頑張りたい。」と話していました。

▼参加者は保育に対する理解を深めた様子でした



高森保育園「一日保育者運動」 保育に対する理解を深める

1月23日、高森保育園で「一日保育者運動」が開催されました。これは、保育に対する理解を深めてもらうと毎年行われているものです。町内の小学校、中学校、高校の先生、保健師など7人が参加しました。参加者は各クラスごとにわかれ、保育を通して園児たちとの楽しいひとときを過ごし、すっかり気に入られた様子でした。

日本生命労働組合熊本支部 ひめゆりへ車椅子を寄贈

2月13日、日本生命労働組合熊本支部が、特別養護老人ホームひめゆりへ車椅子を寄贈しました。これは、同支部が開催したチャリティバザーでの収益金を活用し、ひめゆりの入所者の方に利用してほしいとの思いから車椅子を寄贈されたものです。贈られた車椅子は通所介護などにも利用される予定です。



▲車椅子を寄贈した日生労組熊本支部の太田夕佳さん（写真右）